

図画工作科（6 学年）シラバス

1 . 教科の目標

- ・造形的な能力を働かせるとともに、自ら作り出す喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てる。
- ・材料などの特徴を捉え、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、想像表現の能力デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。
- ・作品などを進んで鑑賞し、その良さや美しさなどを感じ取り感性を高めるとともに、それらを大切にしようとする。

2 . 到達目標

観点	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
目標	自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。	表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。	造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。

3 . 年間指導計画

月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4 5	身近な物を見つめて	・身近なものをよく見て、画面構成や色の使い方などを工夫して表現する。
6	みんなに伝えよう	・伝えたいことがらを文章やスケッチに表現する。
7	のばして、まるめて、くっつけて きょうかしょびじゅつかん	・粘土の特性を生かして土器を作る。 ・いろいろな作品の良さに触れ、その技法や表現を知る。
9	くねくねアート よく見てかこう	・針金の特性を生かして楽しい飾りを作る。 ・静物の色や形をよく見て表現する。
10	わたしのまち	・どこを絵に表すかいろいろと想像し、思いにあわせて、画面構成や色の使い方などを工夫して表現する。
11 12	材料を生かして	・糸のご盤を使って目的にあった形に材料を切り、楽しい作品を作る。
1 2	気持ちをほる、刷る わたしの顔（版画）	・顔をよく観察することから自分の思いを広げ、思いに合わせて材料や技法を選択する。
3	生まれ変わった板たち （ハコ物語）	・思い出や記念になる作品を作る。

4 . 評価の観点・方法

- ・次のような方法で評価します。
 製作態度 作品 鑑賞プリント アイデアスケッチ 発言内容 作品紹介の内容 機械の操作 木取り

5 . 保護者の皆様へ

図画工作では、学校で注文する教材に他に単元によっては、家庭にある廃材などを利用して創作活動にあたる場合があります。その際にご協力をお願いします。作品を家庭に子どもが持ってかえたときは、その作品の良さや子どもががんばったところを是非お話しください。